

宮臨技学術部 研修会報告書 平成 25 年度 作成者 阿部美彌子	
研修会名	「生化学、免疫学の基礎と震災対応型臨床検査システム」
担当分野	生物化学分析部門
開催日時	平成 25 年 7 月 6 日(土)
開催会場	T K P 仙台カンファレンスセンターカンファレンスルーム 4 B
参加人数	会員 29 名、非会員 18 名 合計 47 名(部門員・講師含む)
研修内容	<p>1. 「イムノアッセイの基礎と測定妨害について」  ～ケミルミの光をお見せしましょう～  講師：(株)シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス  C A I 事業部疾患マネジメント  サイエンティフィックマネージャー 川崎 芳正 先生  免疫検査の測定原理を、実際に発光物質を持参して、わかりやすく解説していただいた。異常データ、測定妨害物質(異好抗体)についても詳しく説明していただいた。</p> <p>2. 「生化学検査 測定試薬の基礎と問い合わせ事例」  講師：(株)セロテック 企画開発室 細川 幹夫 先生  臨床化学検査における測定の基礎について詳しく解説していただいた。想定外の事例についてもスライドで丁寧に説明していただいた。特に尿酸の薬剤の影響についての事例は通常の臨床でも体験する事例なので、大変参考になった。</p> <p>3. 「震災対応型臨床検査システム」  講師：東北大学病院 診療技術部 検査部門 舛甚 満 先生  東北大学病院のシステムについて説明していただいた。改めて、震災時の苦勞がしのばれた。震災に対応する総合臨床検査システムの構築が切に望まれている現状では、大変参考になった。</p>
今後	アンケート調査も実施したので、今後内容を反映させた研修会を実施したい。